

大会準備期間 ~気運醸成に向けて~

イベント開催

- P06** 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー
2年前イベント in 宮城
~東京2020開催まであと1年!~開催記念セレモニー in 宮城
(カウントダウンボード除幕式)
- P07** MIYAGIホストタウンフェスティバル in 利府
- P08** 県内各所でのPR展示活動
仙台市中心部商店街でのPRフラッグ掲出
県・スポンサー主催イベントへの出展
- P09** beyond2020プログラム
県内プロスポーツチームとの連携
宮城県サッカー協会との連携

広報活動

- P10** みやぎ2020応援サポーター
開催PR映像の制作・放映
復興支援感謝映像の制作
- P11** 広報媒体を活用した情報発信

国等との協働事業

- P12** あした
未来への道 1,000km縦断リレー
東京2020復興のモニュメント
- P13** 東京2020 NIPPONフェスティバル
「しあわせはこぶ旅 モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ」
子どもサッカー復興五輪

大会時の取組

- P14** 宮城スタジアム周辺イベント

シティドレッシング(都市装飾)

- P16** 利府町内
- P18** JR仙台駅周辺
仙台市中心部商店街
- P19** 地下鉄泉中央駅周辺
地下鉄荒井駅周辺
JR多賀城駅周辺





イベント開催

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

日時 平成29年(2017年)2月9日(木)～3月18日(土)

会場 県庁ほか7市町

東京都は、東京2020大会の開催に向けて人々の気運を盛り上げるため、「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」と称して、平成28年(2016年)からオリンピック旗・パラリンピック旗の全国巡回を実施し、本県では県庁ほか7市町を巡回しました。

巡回初日となる2月9日には、村井嘉浩宮城県知事、小池百合子東京都知事出席の下、県庁1階でフラッグ歓迎セレモニーが開催され、約350人の方々が見守る中、フラッグの引き継ぎ式や仙台市立上杉山通小学校合唱部の皆さんによる合唱が披露されました。



2年前 イベント in 宮城

日時 平成30年(2018年)7月28日(土)11:00～17:00

会場 せんだい青葉山公園交流広場

県内での五輪競技開催をPRし、気運醸成を図るため、東京2020大会開催2年前を記念したイベントを開催しました。当日はシドニー五輪に出場したオリンピックで、ベガルタ仙台のクラブコーディネーターを務める平瀬智行さんの「ゲストトーク」や、ブラインドサッカーが体験できる「パラスポーツチャレンジ」、サッカーゴール的を狙い打ちする「キックターゲット」、スピードガンで自分のシュートのスピードを測定する「スピードチャレンジ」など様々なイベントが行われたほか、公式マスコットキャラクターのミライトワ、ソメイティと記念撮影ができるフォトスポットコーナーでは、多くの子どもたちや家族連れで賑わいました。



～東京2020開催まであと1年!～ 開催記念セレモニー in 宮城 (カウントダウンボード除幕式)

日時 令和元年(2019年)7月24日(水)11:30～12:00

会場 宮城県庁1F県民ロビー

東京2020大会の県内開催に向けて期待感を盛り上げるため、オリンピック、パラリンピックそれぞれの開催までの残り日数を表示するカウントダウンボードを県庁1Fロビーに設置。その除幕式を、オリンピックの開会式までちょうど1年前となる7月24日に行いました。村井知事の挨拶の後、知事とベガルタ仙台の椎橋慧也選手、車いすバスケットボールチーム宮城MAXの豊島英選手、パラバドミントンの亀山楓選手の4名でカウントダウンボードを除幕。ロビーに詰めかけた多くの県民のみなさんから大きな拍手と歓声が起こりました。



MIYAGIホストタウンフェスティバル in 利府

日時 令和元年(2019年)8月24日(土)・25日(日)10:00~17:00

会場 イオンモール利府

東京2020大会開催1年前を記念し、サッカー競技が行われる宮城スタジアムのある利府町で、県内ホストタウンの活動紹介や、パラリンピックの競技体験ができる「MIYAGIホストタウンフェスティバルin利府」を開催しました。式には鈴木俊一五輪担当大臣をお招きし、村井嘉浩宮城県知事をはじめ、ホストタウンに登録されている県内13市町の首長及び、熊谷大利府町長や、みやぎ絆大使を務めるトリノ冬季五輪フィギュアスケート女子金メダリスト荒

川静香さんらが出席。

会場には、ホストタウン相手国の文化や特産品などを紹介する自治体ブースや、「ポッチャ」などのパラリンピック競技が体験できるコーナーなどが設けられたほか、ステージでは荒川さんや元サッカー日本代表の加藤久さんによるゲストトーク、利府高校吹奏楽部のガムラン演奏、アフリカンドラムのパフォーマンスなども披露され、会場は連日多くの人で賑わいました。



県内各所でのPR展示活動

1 オリンピックを飾ったポスター達～歴代大会ポスター展

東京オリンピックメモリアルギャラリー所蔵の歴代オリンピック大会ポスターを展示しました。

平成30年(2018年)8月28日～9月24日／宮城県図書館1階エントランスホール



2 1964年 聖火リレーパネル・巡回展

1964年の東京オリンピック聖火リレーの熱狂を当時の新聞記事で振り返りました。

石巻展 平成30年(2018年)9月13日(木)～9月21日(金)／石巻合同庁舎1階県民の部屋

気仙沼展 平成30年(2018年)9月25日(火)～10月5日(金)／気仙沼合同庁舎1階ロビー

県庁 平成31年(2019年)3月13日(水)～3月22日(金)／県庁1階 県民ロビー



3 みやぎ2020展

1964年と2021年の2つの東京オリンピックについて、ポスターやグッズの展示を通して紹介しました。

令和2年(2020年)7月1日～9月27日／東北電力グリーンプラザ

4 東京2020公式アートポスター展

国内外のアーティスト19組による東京2020大会の公式アートポスター20作品を展示しました。

令和2年(2020年)7月29日～8月16日／宮城県図書館1階エントランスホール

仙台市中心部商店街でのPRフラッグ掲出

仙台市中心部の3商店街のアーケードにPRフラッグを掲出。開催まで1年となった県内で行われるサッカー競技の開催に向けて気運の醸成を図りました。

掲出期間 令和元年(2019年)7月1日～31日

掲出場所 一番町四丁目商店街
マープルロードおおまち商店街
ハピナ名掛丁商店街

掲出枚数 3商店街計113枚



県・スポンサー主催イベントへの出展

県が主催するイベントや東京2020大会スポンサーが主催するイベントに出展し、県内でのサッカー競技開催についてPRを行いました。

子育て応援団すこやか2019

令和元年(2019年)10月19日(土)、20日(日)
宮城県総合運動公園総合体育館

日本生命みんなの2020全国キャラバン

令和元年(2019年)5月25日(土)、26日(日)
三井アウトレットパーク仙台港



beyond2020プログラム

beyond2020プログラムは、2020年に向けて日本文化の魅力を世界に発信するとともに、2020年以降を見据えたレガシー創出のために政府が創設した文化プログラムの認証制度で、地域に伝わる祭りや伝統芸能、食文化やファッションなど、芸術文化に留まらない幅広い事業・活動が該当し、全国各地で様々な事業が認証されました。

平成30年(2018年)8月から宮城県も本プログラムの認証機関となり、認証された事業には、むすび丸を活用したロゴを使用することができました。

宮城県内の認証件数	179件
うち宮城県が認証した件数	15件



県内プロスポーツチームとの連携

プロ野球チームの東北楽天ゴールデンイーグルス、プロバスケットボールチームの仙台89ERSとタイアップし、試合に訪れた多くのファンに、東京2020大会サッカー競技の県内開催をPRしました。

東北楽天ゴールデンイーグルス

日時	令和元年(2019年)5月25日(土) VS オリックス戦(TOHOKU SMILE デー)
会場	楽天生命パーク宮城
観客	27,980人

スタジアム周辺では楽天イーグルスアカデミーの聖澤コーチによるトークショー&クイズ大会や、東京2020大会のピンバッジがもらえる「キックターゲット体験」を実施。グラウンドでは熊谷大利府町長と利府町内の生徒たちが宮城スタジアムでのサッカー競技の開催をPRしました。

仙台89ERS

日時	令和2年(2020年)1月26日(日) VS 福島ファイヤーボンズ戦
会場	ゼビオアリーナ仙台
観客	3,539人

会場内に東京2020大会をPRするのぼりやフォトスポットを設置したほか、子どもたち対象のバスケットボールクリニックや、試合パンフレットへの広告掲載、エスコートキッズによるPRなどを実施しました。



宮城県サッカー協会との連携

(一社)宮城県サッカー協会が主催する「JFAキッズサッカーフェスティバル」や「JFAガールズサッカーフェスティバル」において、世界大会やオリンピック出場の実験を持つ元サッカー選手を招き、実技指導や交流を通じて、東京2020大会サッカー競技開催に向けた気運醸成を図りました。



第1回	令和元年(2019年)9月16日(月・祝)	新富谷ガーデンシティフットサルクラブ／参加者:小学1年生～3年生40名／ゲスト:鈴木隆行氏
第2回	令和元年(2019年)10月5日(土)	松島フットボールセンター／参加者:女子高校生50名／ゲスト:川上直子氏
第3回	令和元年(2019年)12月1日(日) ※午前午後2回	石巻市総合体育館／参加者:未就学児親子50組、小学1年生～3年生100名／ゲスト:前園真聖氏

※予定していた第4回(令和2年(2020年)2月23日 松島)は新型コロナウイルス感染拡大により中止

広報活動

みやぎ2020応援サポーター

県内の個人・団体の皆さまに、独自の取組で大会の気運を高めていただく「みやぎ2020応援サポーター」制度を創設。個人・団体合わせて1,120名(12団体:延べ参加人数1,095名・個人25名)のサポーターの方々に参加いただきました。サポーターの皆さまには、競技会場周辺の清掃やご近所の方への呼び掛け、オリジナルステッカーの車などへの貼付による周知、SNSで情報発信など、地域からの盛り上げにご協力いただきました。



サポーターへ配付したバッジとビブス

開催PR映像の制作・放映

親子、友人、職場の同僚、高校生など、様々な世代の人たちの「がんばれ!」の声をつなぎ、「あなたの声を届けよう!」というテーマで、東京2020大会のサッカー競技開催に向けたPR映像を制作。

YouTubeのほか、マールロードおおまち商店街のアーケードに設置されている「まちくるビジョン」や、楽天生命パーク宮城などで放映され、開催に向けた気運を盛り上げました。

■まちくるビジョン

放映期間:令和2年(2020年)3月2日(月)~3月29日(日)

■楽天生命パーク宮城

放映期間:令和元年(2019年)8月27日(火)~9月1日(日)



復興支援感謝映像の制作

東京2020大会のテーマである「復興五輪」に向け、これまでの被災地への支援に対し「ありがとう」の感謝を伝え、まだ復興半ばとは言え元気を取り戻した宮城の姿を多くの方々へ届けるため、復興支援感謝映像を制作。映像は、令和2年(2020年)7月27日~8月2日、令和3年(2021年)7月19日~8月1日の期間、首都圏を走る京王電鉄の電車内ビジョンで放映されました。



広報媒体を活用した情報発信

「みやぎ県政だより」でのお知らせ

2019年5・6月号	都市ボランティア募集
2019年7・8月号	開催まであと1年!
2019年9・10月号	大会イベントカレンダーin宮城
2019年11・12月号	宮城県のホストタウン
2020年1・2月号	みんなが主役の東京2020大会
2020年3・4月号	宮城に聖火がやってくる
2020年5・6月号	聖火到着式
2020年7・8月号	大会延期のお知らせ
2020年9・10月号	障害者スポーツ特集
2020年11・12月号	競技スケジュール発表
2021年3・4月号	聖火リレー(事前告知)
2021年5・6月号	聖火リレー特集
2021年7・8月号	開催スケジュール/ パラリンピック聖火リレー



ホームページでの情報発信

宮城県のホームページ内に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会宮城県ポータルサイト」を設け、東京2020大会に向けた宮城県の情報を発信しました。

Facebookでの情報発信

多くの人々が利用しているSNSサービス「Facebook」に「宮城県オリンピック・パラリンピック大会推進課」のページを設け、タイムリーな情報発信を行いました。

広報物の制作

■「みやぎ2020通信」

令和2年(2020年)3月24日の東京2020大会延期の決定を受け、それまで盛り上がっていた気運を下げることなく大会までつなげていくことを目的に発行。大会に関する宮城の様々な情報や、イベントレポート等に加え、「ボランティア講座」や、宮城スタジアムを担当している組織委員会職員の皆さんからお送りするリレーコラム「Tokyoだより」などのコーナーを設け、大会気運を盛り上げる様々な情報を発信しました。



■ポスター・チラシ

県内でのサッカー競技開催をPRし、気運醸成を図るため、県内プロサッカーチーム協力の下、PRポスター・チラシを作成しました。



国等との協働事業

あした 未来への道 1,000km縦断リレー

東京都と(公財)東京都スポーツ文化事業団は、復興へ向けた取組等を発信することで、東日本大震災の記憶の風化を防ぐとともに、全国から集まる参加者と被災地の住民の絆を深めることを目的に、平成25年(2013年)から令和元年(2019年)まで、青森から東京まで

の約1,000kmを東日本大震災の被災地を中心に毎年約15日間かけてランニングと自転車をつなぐリレーを開催し、延べ1万人を越える方々が参加しました。



東京2020復興のモニュメント

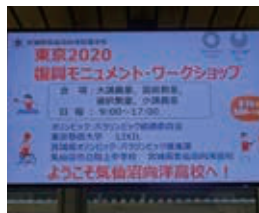
東京2020大会の大きな柱のひとつである「復興五輪」。「復興のモニュメント」は、そんなコンセプトを体現するプロジェクトのひとつです。

モニュメントの材料として使用されたのは、被災地の仮設住宅に使われていた窓枠などの建材を回収して作られた再生アルミ。地元の中高生を集めて行われたワークショップでは、東京藝術大学の学生が考案したデザイン案から中高生が1案を選び、世界への感謝・選手への応援を含めたメッセージを作成。そのメッセージを、東京藝術大学の学生がリサイクルされた素材を使って铸造等加工し、被災三県ごとの3体のモニュメントを製作しました。完成したモニュメントは大会期間中“復興五輪”の象徴として東京の大会会場周辺で展示。応援への感謝として、東京2020大会に参加した選手等のサインが施され、大会後には大会のレガシーとして宮城県総合運動公園内に設置されました。お披露目式には、東京2020パラリンピック車いすバスケットボール男子日本代表で大会銀メダリストの藤本怜央選手や、ワークショップに参加した高校生が招かれました。

■宮城県ワークショップ

日時 令和元年(2019年)8月20日(火)

会場 宮城県気仙沼向洋高校



東京2020 NIPPONフェスティバル 「しあわせはこぶ旅 モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ」



日時 令和3年(2021年)5月22日(土) 13:00~13:55

会場 岩沼市 千年希望の丘 相野釜公園

モッコは被災三県の子どもたちとクリエイターによって創られた身長約10mの巨大操り人形。このモッコが岩手・宮城・福島の3県をまわり、各会場で預かった東北の方たちのメッセージを届けるために、東京を目指して旅する「しあわせはこぶ旅」が開催されました。このイベントは、大会公式文化プログラム「東京2020 NIPPONフェスティバル」の中で「東北復興」をテーマとして開かれたもの。イ

ベントは新型コロナウイルスの感染拡大により、無観客となりましたが、式典では地元の方たちから寄せられた約200通のメッセージが、菊地啓夫岩沼市長からクリエイティブディレクターの箭内道彦さんに託されたほか、操演者によるモッコの壮大なパフォーマンスが繰り広げられました。



子どもサッカー復興五輪

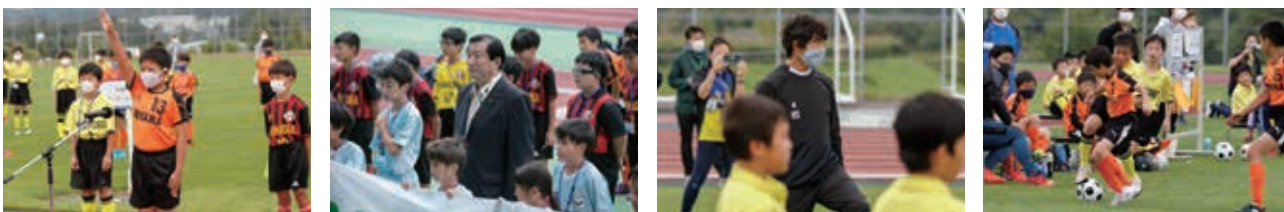


日時 令和3年(2021年)7月4日(日) 10:15~16:30

会場 宮城県総合運動公園 宮城スタジアム／補助競技場

東京2020大会の開催を間近に控えた7月4日、サッカー競技が行われる宮城スタジアムを会場に、復興庁主催の「子どもサッカー復興五輪」が開かれました。参加したのは仙台市、大崎市、柴田町、利府町のサッカースポーツ少年団やジュニアサッカークラブの子どもたち。スタンドに集合した子どもたちは、亀岡偉民復興副大臣の挨拶の後、復興について学び、憧れのピッチに降りて記念撮影。その

後、補助競技場に移動し、Jリーグや日本代表でも活躍した元プロサッカー選手の佐藤寿人氏、平山相太氏によるサッカー教室で指導を受けました。ミニゲーム後の表彰式では、本物のビクトリーブレーケやメダルが授与され、参加した子どもたちは五輪気分を味わっていました。



大会時の取組



宮城スタジアム周辺イベント

復興パネル展

開催日 令和3年(2021年)7月21日(水)、24日(土)、28日(水)、30日(金)、31日(土)

試合開催日には宮城スタジアム入口前に設置した2基の大型テントの中で、訪れた観客の皆さんに震災からの復興状況や、宮城県の観光・物産情報を発信するパネル展を開催しました。

当初は国内外から訪れる多くの観客の方々をおもてなしするため、県内産の食材や特産品を活用した飲食提供や、キックターゲットなどのアトラクションも実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により大幅に規模を縮小し、パネル展示のみとなりました。



「十符の里」利府ウォークラリー

開催日

令和3年(2021年)7月21日(水)、27日(火)、8月1日(日)

利府町では、会場最寄駅のJR利府駅から、競技会場である宮城スタジアムまで、「十符の里」にちなんだ10のチェックポイントを周るウォークラリーを開催。各チェックポイントには、利府町やオリンピックに関するクイズやゲーム、復興への感謝のメッセージを記入するボードや、被災地で育てられ、宮城スタジアムでも使用されている復興芝生の上で巨大なサッカーボールとRIFUの立体文字、宮城スタジアムを背景に記念撮影ができるフォトスポットなども用意され、スタジアムへ向かう約3kmの道のりが楽しくなるよう、様々な演出でおもてなしをしました。



シティドレッシング(都市装飾)

競技会場である宮城スタジアムから最寄駅のJR利府駅にかけて、仙台市中心部、シャトルバス発着場のJR仙台駅東口、地下鉄泉中央駅、地下鉄荒井駅、JR多賀城駅周辺において、令和3年(2021年)6月以降順次シティドレッシング(都市装飾)を実施しました。

利府町内

宮城スタジアム<令和3年(2021年)7月7日(水)~8月1日(日)>

- 記念碑:1基 ●オリンピックシンボルマーク花壇:1カ所

JR利府駅前~宮城スタジアム周辺<令和3年(2021年)6月1日(火)~8月1日(日)>

- 街灯バナー:293枚 ●横型バナー:14枚

JR利府駅前<令和3年(2021年)6月1日(火)~8月1日(日)>

- 4面タワーサイン:1基 ●3面タワーサイン:1基

JR利府駅ホーム<令和3年(2021年)7月1日(木)~8月1日(日)>

- 横型バナー:16枚





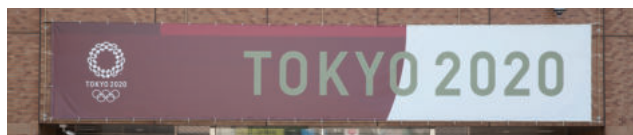
JR仙台駅周辺

JR仙台駅東口〈令和3年(2021年)7月1日(木)～8月1日(日)〉

- 街灯バナー:83枚(43カ所)

JR仙台駅西口〈令和3年(2021年)6月19日(土)～8月1日(日)〉

- 仙台駅舎大型横断幕:2枚



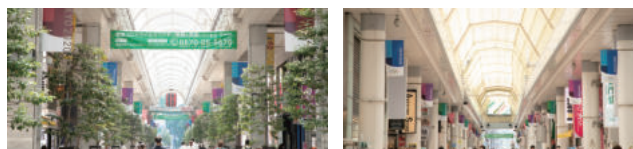
仙台市中心部商店街

仙台市中心部商店街
〈令和3年(2021年)6月14日(月)～8月1日(日)〉

- 仙台市中心部商店街バナー:232枚
 - ①ハピナ名掛丁商店街:34枚
 - ②クリスロード商店街:53枚
 - ③マーブルロードおおまち商店街:31枚
 - ④サンモール一番町商店街:30枚
 - ⑤ぶらんどーむ一番町商店街:36枚
 - ⑥一番町四丁目商店街:48枚

仙台三越〈令和3年(2021年)7月1日(木)～8月1日(日)〉

- 壁面大型バナー:1枚



地下鉄泉中央駅周辺

〈令和3年(2021年)7月11日(日)～8月1日(日)〉

- 街灯バナー:29枚(25カ所)
- のぼり:10本



地下鉄荒井駅周辺

〈令和3年(2021年)7月1日(木)～8月1日(日)〉

- 街灯バナー:22枚(17カ所)
- 大型バナー:1枚(地下鉄荒井駅舎)



JR多賀城駅周辺

〈令和3年(2021年)7月1日(木)～8月1日(日)〉

- 街灯バナー:45枚(24カ所)
- バス乗り場バナー:36枚

